

ふくしま農業女子ネットワーク 農女びより



広々とした運動場で気ままに過ごすジャージー牛たち

◆ふくしま農業女子ネットワーク（愛称：百笑一姫♡Fukuがある）
農業女子同士の交流・連携を深め、技術の向上を図ろうと、県内の女性就農者や就農希望者65人で構成。福島民報社をはじめ、県内の30企業・団体が「応援団」として登録している。農産品を使

った加工品の共同開発や情報発信、経営力向上、販路拡大などに連携して取り組む。メンバー、応援団となる企業・団体を随時募集している。URLは<https://www.fuku-girl.jp/>
問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。



しみず 清水 奈々さん（鮫川村）

オリジナル牛乳販売

結婚を機に、酪農の世界に足を踏み入れてから、丸2年がたちました。自然豊かな鮫川村の山奥で、夫と共に「ファームつばさ」を営み、約30頭のジャージー牛と一緒に生活しています。ジャージー牛は小柄で茶色のかわりらしい乳牛です。体は小さいですが、濃厚でおいしい牛乳を出してくれま

す。今年、私たちの牧場では大きな出来事が2つありました。まず4月に、ずっと念願だった牛たちの運動場が完成しました。完成を誰よりも喜んでくれたのは牛たちの方でした。初めて外へ開放してあげた時には、みんな一斉に飛び跳ねて全身で喜

ぶを表してくれました。牛たちが外で思い切り動き回る姿や気持ちよさそうにお昼寝をする姿を特等席で眺められる幸せを、日々かみしめながら仕事に励んでいます。

そして6月には牧場オリジナルの牛乳の販売を開始しました。月に一度の限定販売ですが、大切な牛乳をたくさんの人たちに飲んでもらえることを本当にうれしく思います。牛乳は季節によって味が変わる飲み物

です。暑い夏は牛たちが水をいっぱい飲むので、さっぱり、さらっとした味になります。寒くなるにつれ、どんどん濃厚で、こっくりとした味わいになっていきます。ジャージー

牛乳らしい濃厚さを味わうには、これから最高の季節です。

この冬、新たに8頭の子牛が牧場メンバーに仲間入りする予定です。牛乳は本来、子牛が飲むためのもの。酪農はその牛乳を分けてもらうことで成り立っている仕事だということをお忘れずに、これからも自分たちらしく、一歩ずつ夢に向かって進んでいきたいです。

◆プロフィール◆ 山口県宇部市出身。元化学メーカー勤務で塗料の研究開発に携わる。結婚を機に鮫川村に移住し、夫婦で「ファームつばさ」を営む。六次化商品開発にも取り組み、自家製フレッシュチーズの試作などを行う。この冬からは発酵バターを販売予定。